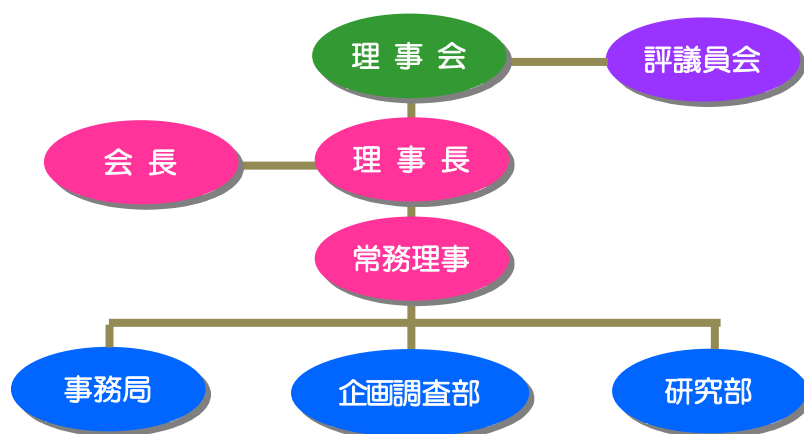


## 1. 財団の概要

法人名	公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団
理事長 (代表理事)	石塚 博昭 (2017年5月1日就任)
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目34番5号 VERDE VISTA 新宿御苑3階
電話/FAX	03-5919-1631 (代表) / FAX 03-5919-1641
ホームページ	<a href="https://dia.or.jp/">https://dia.or.jp/</a>
設立	1993(平成5)年6月18日 (厚生省許可) 2010(平成22)年12月1日 公益財団法人に移行 (内閣府認定)
目的	高齢社会の諸問題に関する実践的な調査・研究活動を通じて、保健・医療及び福祉等の分野の課題の解決に寄与する
主な事業	高齢社会における「健康」「経済」「生きがい」に関する調査・研究、並びに諸問題に関する啓発活動・活動成果の普及
賛助会員 26社  (五十音順) (2023年7月1日現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AGC 株式会社</li> <li>・ キリンホールディングス株式会社</li> <li>・ 株式会社ニコン</li> <li>・ 三菱化工機株式会社</li> <li>・ 三菱ケミカルグループ株式会社</li> <li>・ 三菱自動車工業株式会社</li> <li>・ 三菱製鋼株式会社</li> <li>・ 株式会社三菱総合研究所</li> <li>・ 株式会社三菱 UFJ 銀行</li> <li>・ 三菱 UFJ 信託銀行株式会社</li> <li>・ ENEOS ホールディングス株式会社</li> <li>・ 東京海上日動火災保険株式会社</li> <li>・ 日本郵船株式会社</li> <li>・ 三菱ガス化学株式会社</li> <li>・ 三菱重工業株式会社</li> <li>・ 三菱製紙株式会社</li> <li>・ 三菱電機株式会社</li> <li>・ 三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社</li> <li>・ 三菱 UFJ ニコス株式会社</li> <li>・ 株式会社ピーエス三菱</li> <li>・ 三菱ケミカル株式会社</li> <li>・ 三菱地所株式会社</li> <li>・ 三菱商事株式会社</li> <li>・ 三菱倉庫株式会社</li> <li>・ 三菱マテリアル株式会社</li> <li>・ 明治安田生命保険相互会社</li> </ul>

## 2. 執行組織



当財団ホームページ  
<https://dia.or.jp/>

## 3. 評議員・理事・監事

## 評議員

(2023年6月7日現在)

(敬称略。五十音順)

氏名	所属
秋山 弘子	東京大学 名誉教授
安藤 高夫	医療法人社団永生会 理事長
池上 直己	慶應義塾大学 名誉教授
石井 信芳	特定非営利活動法人地域共生政策自治体連携機構 代表理事 事務局長
小野木 純	三菱電機株式会社 人事部次長
小林 純一	AGC 株式会社 常務執行役員 人事部長
鈴木 康修	日本郵船株式会社 執行役員
坪井 純子	キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員
野川 真木子	三菱マテリアル株式会社 執行役常務 CHRO
橋詰 政幸	東京海上日動火災保険株式会社 理事 総務部長
花俣 ふみ代	公益社団法人認知症の人と家族の会 副代表理事 埼玉県支部代表
藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 副所長
丸井 英二	人間総合科学大学 人間科学部 教授
明嵐 二郎	三菱地所株式会社 総務部長
吉池 由美子	株式会社三菱総合研究所 人事部長

理事

(2023年6月7日現在)

(敬称略)

氏名	所属
会長 松尾 憲治	明治安田生命保険相互会社 名誉顧問
理事長(代表理事) 石塚 博昭	三菱ケミカル株式会社 シニアエグゼクティブコンサルタント
常務理事(業務執行理事) 佐藤 一三	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
浅野 洋介	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
栄畑 潤	一般社団法人シルバーサービス振興会 理事長
齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
清水 肇子	公益財団法人さわやか福祉財団 理事長
高井 康行	一般財団法人長寿社会開発センター 理事長
田中 滋	埼玉県立大学 理事長
常森 賢行	株式会社三菱 UFJ 銀行 執行役員 人事部長
壺内 健一郎	三菱重工業株式会社 総務部長
野島 嘉之	三菱商事株式会社 執行役員 総務部長
山本 則子	東京大学大学院 医学系研究科 教授

監事

(2023年6月7日現在)

(敬称略。五十音順)

氏名	所属
奥山 元	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 取締役常務執行役員
金子 茂夫	金子会計事務所 (公認会計士・税理士)

## 4. 理事会・評議員会の開催状況

## 理事会

開催日 (※：定時理事会)	決議事項 (○)・報告事項 (◇)
2022年 5月 19日 (※)	○ 2022年度定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ○ 2021年度事業報告、計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録承認の件 ◇ 評議員・理事・監事候補者の件 ◇ 職務遂行状況報告の件
2022年 6月 8日	○ 役員互選の件(代表理事、常務理事)、事務局長承認の件
2022年 12月 26日	○ 内部諸規程の制定及び改正の件
2023年 3月 2日 (※)	○ 2022年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ○ 2023年度事業計画及び収支予算の件 ◇ 理事候補者の件 ◇ 職務遂行状況の件 ◇ 基本財産等の管理運用状況の件

## 評議員会

開催日 (※：定時評議員会)	決議事項 (○)・報告事項 (◇)
2022年 6月 8日 (※)	○ 2021年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録承認の件 ○ 評議員選任の件 ○ 理事選任の件 ○ 監事選任の件 ◇ 2021年度事業報告の件
2022年 7月 31日	○ 理事選任の件
2022年 10月 31日	○ 評議員選任の件
2022年 12月 26日	○ 理事選任の件
2023年 3月 2日	○ 2023年度事業計画及び収支予算の件 ○ 理事選任の件 ◇ 職務遂行状況の件 ◇ 基本財産等の管理運用状況の件

## 5. 研究スタッフ (2023年4月1日現在)

石橋 智昭 主席研究員／研究部長 (博士<医学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスサービスリサーチ</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスの質の可視化</li> <li>介護保険制度の政策評価</li> <li>生きがい就業の健康維持効果</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員 初任者研修テキスト(分担執筆)：介護労働安定センター,2018.</li> <li>インターライ方式ガイドブック；ケアプラン作成・質の管理・看護での活用(編著)：医学書院,2017.</li> <li>就労支援で高齢者の社会的孤立を防ぐ 社会参加の促進と QOL の向上；第5章 生きがい就業を支える社会システム(分担執筆)：ミネルヴァ書房,2016</li> <li>Long-term care reforms in OECD countries; POLICY PRESS, 2016</li> <li>ジェロントロジー・ライブラリー②高齢者の就業と健康 何歳まで働くべきか；第3章-1 介護予防になる生きがい就業のかたち(分担執筆),社会保険出版社,2016.</li> <li>Towards Human Rights in Residential Care for Older Persons: International Perspectives; Human rights and residential care for older people in Japan. Routledge, 2015.</li> <li>Regulating Long-Term Care Quality; An International Comparison. Cambridge University Press, 2014.</li> <li>インターライ方式 ケア アセスメントー居宅・施設・高齢者住宅(翻訳). 医学書院,2011.</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスの質の評価;国家プロジェクト LIFE への期待と不安. 応用老年学, 158(1), 4-11, 2021.</li> <li>高齢者就労における事故と防止策. 老年社会科学, 43(1), 74-78, 2021.</li> <li>Igarashi A, Yamamoto-Mitani N, Ota A, Ishibashi T, Ikegami N. Care Prevention Needs in Community-Dwelling Older Adults in Japan. Health, 13, 123-133. 2021.</li> <li>要介護度を用いたアウトカム評価の課題；複数指標での予防給付サービスの効果検証結果から. 応用老年学, 14(1), 23-30, 2020.</li> <li>シルバー人材センター会員の加齢と就業. 老年社会科学, 42(3), 209-214, 2020.</li> <li>生きがい就業を支えるシルバー人材センターのシステム. 老年社会科学, 37(1), 2015.</li> <li>介護予防の観点からみた生きがい就業の効用. 病院設備, 56(4), 2014.</li> <li>アセスメントデータを用いた居宅ケアの質の評価—HC-QI の活用. 老年社会科学,33(3),484-489,2011.</li> <li>Should the provision of home help services be contained? : validation of the new preventive care policy in Japan. BMC health services research 10 224,2010.</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学研究費助成事業(2020-2022) 「要介護高齢者の社会的な Well-being を評価する『参加』指標の探索」</li> <li>第46回(平成27年)三菱財団 社会福祉事業・研究助成「高齢者が支え手側となる「生きがい就業」の有用性検証」</li> <li>科学研究費助成事業(2013-2015)「ケア現場のエビデンス集積を促進する利用者データベースの構築」</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>慶應義塾大学医学部 非常勤講師</li> <li>東邦大学看護学部 非常勤講師</li> <li>一般社団法人 日本応用老年学会 副理事長</li> <li>公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会 優良センター等選定委員</li> <li>特定非営利活動法人 インターライ日本 理事</li> <li>東京都健康長寿医療センター 協力研究員</li> </ul>

## 澤岡 詩野 主任研究員 (博士&lt;工学&gt;)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年社会学 (社会関係)、都市社会学、建築学 (都市計画)</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市高齢者の周縁部の社会関係 (仲間や知合いなどのゆるやかなつながり)</li> <li>・ 社会とつながり続ける手段としての ICT の可能性 (情報通信技術)</li> <li>・ 高齢期の第三の居場所 (家庭、職場に続く居心地の良い場の形成)</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書/分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜の市民活動と地域自治 (まちづくりブックレット), 石井大一郎編著, 吉原明香, 山田美智子, 澤岡詩野, 淵元初姫, 東信堂, 2021</li> <li>・ 保健福祉職のための「まち」の健康づくり入門; 地域協働によるソーシャル・キャピタルの育て方・活用法, 藤原佳典監修, 倉岡正高, 石川貴美子編著, 澤岡詩野他, ミネルヴァ書房, 2021</li> <li>・ 後悔しない年賀状終活のすすめ, 澤岡詩野, カナリアコミュニケーションズ, 2019</li> <li>・ 「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり, 袖井孝子編著, 佐藤滋, 辻利夫, 澤岡詩野他, ミネルヴァ書房, 2016</li> <li>・ 荻窪家族プロジェクト物語; 住む人・使う人・地域の人みんなで作る多世代で暮らす新たな住まい方の提案, 荻窪家族プロジェクト編著; 瑠璃川正子, 澤岡詩野, 連建夫他, 萬書房, 2016</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防を目的とした高齢者の自主グループ活動で生じる課題; 横浜市元気づくりステーション事業で世話役を担う高齢者の語りから; 澤岡詩野, エイジレスフォーラムNo.18, 2020</li> <li>・ 大都市居住傘寿者のコホート調査追跡対象者の特性と4年6か月後の生命予後及び介護・医療サービスの利用状況; 長田斎, 古谷野亘, 安藤雄一, 澤岡詩野, 甲斐一郎, 厚生指標 67(1), 1-8, 2020</li> <li>・ 都市高齢者のボランティア活動と継続意識; よこはまシニアボランティアポイント制度登録者における検討; 澤岡詩野, 渡邊大輔, 中島民恵子, 大上真一, 応用老年学, 第11巻, 61-70, 2017</li> <li>・ 都市高齢者の近隣との関わり方と支え合いへの意識; 非常時と日常における近隣への意識に着目して; 澤岡詩野, 渡邊大輔, 中島民恵子, 大上真一, 老年社会科学, 第37巻第3号, 306-315, 2015</li> <li>・ 高齢者の非親族との電子メールを介した交流の特性; 澤岡詩野, 袖井孝子, 森やす子, 荒井浩道, 社会情報学, 第2巻第3号, 15-26, 2014</li> <li>・ 都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ; 澤岡詩野, 応用老年学, 第8巻第1号, 31-39, 2014</li> <li>・ 都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流; 澤岡詩野, 古谷野亘, 本田亜起子, 老年社会科学, 第34巻第1号, 39-45, 2012</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度長寿科学研究者支援事業(平成29年~31年) ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究</li> <li>・ 平成23年度 文部科学省科学研究費補助金 若手 A(平成23~平成25年) 日常化しつつある都市在宅高齢者の交流媒体としてのインターネットの役割</li> <li>・ 平成22、23年度 福祉医療機構事業助成(申請 シニア社会学会) ICTによる高齢者孤立防止事業、孤立防止モデル普及事業</li> <li>・ 平成22年度 日本興亜福祉財団ジェロントロジー研究助成 ICTを活用した後期高齢期における社会活動継続に関する研究</li> </ul> <p>(受賞歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度 日本老年社会学会 論文賞</li> <li>・ 平成23年度 日本老年社会学会 奨励賞</li> <li>・ 平成14年度 三井住友海上福祉財団賞 高齢者福祉部門 佳作</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法政大学現代福祉学部、神奈川大学社会教育課程 非常勤講師</li> <li>・ 東京都健康長寿医療センター 協力研究員</li> <li>・ 日本老年社会学会(広報委員、編集委員)、日本応用老年学会 (監事、編集委員)、シニア社会学会 (理事)</li> <li>・ 日本建築学会、日本都市社会学会、社会情報学会、The Gerontological Society of America 会員</li> <li>・ (公財)東京都防災・建築まちづくりセンター 理事</li> <li>・ 内閣府平成27年度~令和3年度 高齢社会フォーラム運営委員</li> </ul>

## VI 財団の概要・組織・研究スタッフ

### 佐々木 晶世 博士研究員（博士<医学>）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疫学・公衆衛生学、老年看護学</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防</li> <li>・ 高齢者の健康の維持増進</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐々木晶世、黒木淳、叶谷由佳:介護療養型医療施設における看取りに向けた取り組みと施設の特徴、日本在宅医療連合学会誌 4(1):18-27, 2023</li> <li>・ 佐々木晶世、叶谷由佳、柏崎郁子、榎倉朋美:多重介護の現状と課題:介護支援専門員を対象とした調査より、日本公衆衛生雑誌 70(1)、27-38、2023.</li> <li>・ 吉田香、佐々木晶世、叶谷由佳、齋藤京子、稲森正彦:地域在住高齢者の日常生活における身体活動の実態とフィードバックの効果、日本健康医学会雑誌 30(3)、361-371、2021</li> <li>・ 佐々木晶世、榎倉朋美、柏崎郁子、保下真由美、叶谷由佳:看護学生における訪問看護就労意向の実態と課題、日本看護研究学会雑誌 44(1)、135-144、2021</li> <li>・ 佐々木晶世、柏崎郁子、佐藤里奈、叶谷由佳:東日本大震災被災地における支援者の心的外傷後成長(PTG)への変容課程、日本健康医学会雑誌 29(3)、363-369、2020</li> <li>・ Association of home blood pressure with sleep and physical and mental activity, assessed via a wristwatch-type pulsimeter with accelerometer in adults, Clinical and Experimental Hypertension, 42(2), 131-138, 2019.</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業(2022 - 2025)「ICT を活用した女性介護者の健康支援に関する研究」</li> <li>・ 科学研究費助成事業(2017 - 2021)「ヨーガの介護予防効果の検証;腕時計型脈拍・加速度計による睡眠覚醒リズムに着目して」</li> <li>・ 総合健康推進財団 平成 26 年度一般奨励研究助成「高齢者の生体リズムと生活リズムとの関連-生体リズムと生活リズムの乱れの早期発見は虚弱スクリーニング指標になりうるか?-」</li> </ul> <p>(受賞歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2014 年日本健康医学会奨励賞</li> <li>・ 2022 年日本健康医学会学会賞</li> </ul>
学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜市立大学客員講師</li> <li>・ 横浜市立大学医学部看護学科非常勤講師</li> <li>・ かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスコンソーシアム顧問</li> <li>・ 日本メディカルヨガ協会メディカルサポーター</li> <li>・ 日本健康医学会 評議員、雑誌編集委員</li> <li>・ 横浜市病院協会看護学校 学校運営会議委員</li> <li>・ 千葉県立野田看護専門学校 非常勤講師</li> <li>・ 第 49 回日本看護研究学会学術集会 企画委員</li> </ul>

上原 桃美 (旧姓中村) 博士研究員 (博士&lt;老年学&gt;)

専門領域	・ 老年学
研究テーマ	・ シルバー人材センターにおける QOL 維持増進効果の検証
近年の主な業績	<p>(著書/分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェロントロジー・ライブラリー②高齢者の就業と健康 何歳まで働くべきか；第3章-1 介護予防になる生きがい就業のかたち(分担執筆)社会保険出版社(2016)</li> <li>(論文)</li> <li>・ 森下久美・松山玲子・渡辺修一郎・中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける重篤事故の発生状況：10年間の全国データによる検討」労働科学, 96 (5/6), 2021</li> <li>・ 石橋智昭、森下久美、中村桃美：「シルバー人材センター会員の加齢と就業」老年社会科学, 42(3), 2020</li> <li>・ 中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センターに対する会員の領域別満足度と関連要因の検討」応用老年学, 12(1), 2018</li> <li>・ 中村桃美、石橋智昭：「生きがい就業における年齢階層別の就業実態；シルバー人材センター7ヶ所への調査から」．応用老年学, 11(1), 2017</li> <li>・ 塚本成美、中村桃美、石橋智昭：「シルバー人材センター会員の前職と希望する職種の関係」．老年社会科学, 38(1), 2016</li> <li>・ 中村桃美、長田久雄、杉澤秀博：「都市部シルバー人材センターにおける就業の高次生活機能の低下抑制への影響」．老年学雑誌, (6), 2016</li> <li>(学会発表)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭・本橋昇・姉崎猛：「ホワイトカラー出身のシルバー人材センター会員における就業マッチングと退会」第16回日本応用老年学会大会 (2021/11)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員の年間総所得額とセンター収入との関連」日本老年社会科学会第63回大会 (2021/6)</li> <li>・ 森下久美・松山玲子・渡辺修一郎・中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける10年間の重篤事故状況の推移」第15回日本応用老年学会大会 (2020/10)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける就業班リーダーの認知症に対する態度」日本老年社会科学会第62回大会 (Vol.42 No.2 誌上発表) (2020/6)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「認知機能低下が見られる高齢者の就業；都内シルバー人材センター会員を対象に」第78回日本公衆衛生学会総会 (2019/10)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員が希望しない仕事の特徴」第14回日本応用老年学会大会 (2019/10)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける退会会員の特性；全国調査からの検討」第61回日本老年社会科学会大会 (2019/6)</li> <li>・ 塚本成美・石橋智昭・森下久美・中村桃美・大坪英二郎・松田文子・渡辺修一郎：「シルバー人材センターの80歳以上の会員が担当している仕事の内容と条件」第61回日本老年社会科学会大会 (2019/6)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員の年齢段階別の退会理由；全国6万人調査の結果から」第77回日本公衆衛生学会総会 (2018/10)</li> <li>(競争的資金)</li> <li>・ 科学研究費助成事業(2018-2020)「高齢期の認知機能低下は生きがい就業を不可能にするか；支援方法構築のための基礎研究」.</li> </ul>
大学・関係団体での役職	・ 社会福祉法人亀鶴会 公益的取組み推進委員



森下 久美 博士研究員（博士<老年学>）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年学、栄養学</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の人の家族介護者支援</li> <li>・ 生きがい就業の健康維持効果</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の人と家族を支えるガイドブック；第2章-7子育てと介護を同時に行っている人(ダブルケア)の支援にはどのようなものがあるか(分担執筆).ワールドプランニング.東京.2020</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Morishita-Suzuki K, Nakamura-Uehara M, Ishibashi T. The improvement effect of working through the Silver Human Resources Center on pre-frailty among older people: A two year follow-up study. BMC Geriatrics,23(265),2023</li> <li>・ 森下久美・松山玲子・渡辺修一郎・中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける重篤事故の発生状況：10年間の全国データによる検討」労働科学，96(5)，2021</li> <li>・ 森下久美・渡辺修一郎・長田久雄：「シルバー人材センター会員における屋外作業時の疲労対処行動；運動機能と認知機能の類型による比較」日本公衆衛生雑誌，68(8)，2021</li> <li>・ 森下久美・渡辺修一郎・長田久雄：「シルバー人材センター会員における運動機能および認知機能と主観的疲労感の関連；屋外作業における検討」応用老年学，14(1)，2020</li> <li>・ 石橋智昭・森下久美・中村桃美：「シルバー人材センター会員の加齢と就業；65～66歳会員の3時点10年間の変化」老年社会科学，42(3)，2020</li> <li>・ 関野明子・矢吹知之・長田久雄・森下久美：「認知症高齢者と家族介護者との同居・別居における背景要因の比較；別居介護研究の進展に向けた研究課題の検討」日本認知症ケア学会誌，19(3)，2020</li> <li>・ 森下久美・長田久雄：「大学生の認知症の人への態度に関連する要因の検討；非医療福祉系専攻の学生に着目して」老年学雑誌，10，2019</li> </ul> <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森下久美・中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける就業の2年後のフレイル改善効果」日本老年社会科学会第64回大会(2022/7)</li> <li>・ 森下久美・松山玲子・姉崎猛・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける就業時の「保護具の非着用」が起こる背景：2009-2020年度重篤事故報告資料による検討」第17回日本応用老年学会大会（2022/11）</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業(2023-2025)「認知機能に不安を抱く高齢者への就業継続支援：シルバー人材センターにおける検討」.</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症介護研究・研修仙台センター 特任研究員</li> </ul>

## 安 順 姫 研究員 (修士&lt;老年学&gt;)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年学</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員の主観的 Well-being の向上</li> <li>・ 在宅型こころの健康増進プログラムの効果検証</li> <li>・ 通所型こころの健康増進プログラムの普及・定着</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安順姫、芳賀博、新野直明、森田彩子、岩田明子：地域在住高齢者におけるポジティブ心理学的介入を取り入れたうつ予防プログラムの効果。日本保健福祉学会誌，2021；28（1）：1-13.</li> <li>・ 安順姫、芳賀博、佐藤美由紀：ポジティブ心理学的介入に基づくうつ予防教室終了後の自主グループ活動への継続参加に関する要因。応用老年学，2020；14（1）：4-12.</li> <li>・ 安順姫、芳賀博、兪今：介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因。老年学雑誌 2011；2：1-13.</li> </ul> <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安順姫、新野直明、岩田明子：「ポジティブ心理学的介入の手法を取り入れたうつ予防プログラムの検討：プログラム実践にあたる参加者の自由記述から」第 17 回日本応用老年学会大会（2022/11/12-13）</li> <li>・ 安順姫、新野直明、岩田明子：「うつ予防プログラムの実践状況及び参加回数と精神的健康状態との関係：ポジティブ心理学的介入の手法を取り入れて」日本老年社会科学会第 64 回大会（2022/7/2-3）</li> <li>・ 安順姫、新野直明、芳賀博、岩田明子：「軽度要介護高齢者における精神的健康増進プログラムの試み：デイサービス利用者を対象にして」第 16 回日本応用老年学会大会（2021/11）</li> <li>・ 安順姫、新野直明、芳賀博、岩田明子：「軽度要介護高齢者の健康に関する検討-デイサービス利用者を対象にして-」日本老年社会科学会第 63 回大会（2021/6）</li> <li>・ 安順姫、芳賀博、岩田明子：「ポジティブ心理学的介入に基づくハッピープログラムが高齢者の不安に与える影響」第 79 回日本公衆衛生学会総会（2020/10）</li> <li>・ 安順姫、芳賀博、岩田明子：「地域在住高齢者の抑うつ症状の変化と発症に関連する要因：4年間の縦断的研究」第 15 回日本応用老年学会大会（2020/10）</li> <li>・ 安順姫、芳賀博、佐藤美由紀：「自主グループ活動を継続させるための支援のあり方～「ハッピー教室」終了後の自主グループを対象とした検討～」日本老年社会科学会第 62 回大会（2020/6）</li> <li>・ 安順姫、芳賀博、佐藤美由紀：「うつ予防教室終了後の自主活動継続のための支援のあり方」日本老年社会科学会第 61 回大会（2019/6）</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公益財団法人明治安田厚生事業団（2023-2024 年度）：地域在住高齢者を対象とした在宅型こころの健康増進プログラムの作成と効果検証</li> <li>・ 三井住友海上福祉財団（2020-2021 年度）：ポジティブ心理学的介入が軽度要介護高齢者の精神的健康に及ぼす効果</li> <li>・ 平成 29 年度 科学研究費助成事業(平成 29～平成 30 年度)：うつ予防教室終了後の自主活動定着のための支援に関する研究</li> </ul>

【客員研究員】

芳賀 博（佐久大学大学院 看護学研究科 客員教授）

専門領域・テーマ	・ 公衆衛生学・健康科学、応用健康科学、老年学
----------	-------------------------

新野 直明（桜美林大学 健康福祉学群 教授）

専門領域・テーマ	・ 老年学、衛生学、公衆衛生学、疫学、老年医学
----------	-------------------------

塚本 成美（城西大学 経営学部 教授）

専門領域・テーマ	・ 経営社会学、経営組織論、人事労務論、雇用労働論
----------	---------------------------

渡辺 修一郎（桜美林大学大学院 国際学術研究科 教授）

専門領域・テーマ	・ 老年学、地域保健学、産業保健学、老年医学
----------	------------------------

二宮 彩子（城西国際大学 看護学部 教授）

専門領域・テーマ	・ 基礎看護学、在宅ケア
----------	--------------

高野 龍昭（東洋大学 社会福祉デザイン学部 社会福祉学科 教授）

専門領域・テーマ	・ 介護保険、ケアマネジメント
----------	-----------------

小野 恵子（青森県立保健大学 健康科学部 准教授）

専門領域・テーマ	・ 地域・老年看護学、在宅ケア、在宅看護、訪問看護
----------	---------------------------

五十嵐 歩（東京大学大学院 医学系研究科 准教授）

専門領域・テーマ	・ 老年看護学（慢性期医療・施設・在宅における高齢者ケアの質評価・改善）
----------	--------------------------------------

廣岡 佳代（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 准教授）

専門領域・テーマ	・ 終末期ケア、緩和ケア、在宅ケア、訪問看護
----------	------------------------

森田 彩子（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 准教授）

専門領域・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会医学、公衆衛生学・健康科学、国際保健学</li> </ul>
----------	---

齋藤 京子（淑徳大学 教育学部こども教育学科 准教授）

専門領域・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疫学、栄養、公衆衛生、予防医学</li> </ul>
----------	---

松田 文子（公益財団法人大原記念労働科学研究所 特別研究員）

専門領域・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働科学、人間工学、産業組織心理学、安全工学</li> </ul>
----------	--

早尾 弘子（公益社団法人日本看護協会 職員）

専門領域・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎看護学、健康情報分析学</li> </ul>
----------	---

土屋 瑠見子（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主任研究員）

専門領域・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリテーション、老年学、公衆衛生学</li> </ul>
----------	---

大坪 英二郎（明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 兼任講師）

専門領域・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険学、高齢社会論、年金マネジメント、パーソナルファイナンス</li> </ul>
----------	--

研究スタッフの詳細は当財団ホームページをご参照ください

<https://dia.or.jp/profile/researcher/>



リンクしない場合は財団のトップページからアクセスしてください

## 6. 他機関・団体等との交流

### (1) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

「令和4年度安全就業優秀・優良センター等選定委員会」への参画

2022年5月24日に石橋智昭研究部長が、学識委員として参画しました。

### (2) 令和3～6年度 文部科学省科学研究費（研究代表 宇都宮大学

石井大一郎先生）「自治会消滅の実態を踏まえた新たな地域自治モデルの創出」

2022年6月より、澤岡詩野主任研究員が、分担研究者として参画しました。

### (3) (一社)全国食支援活動協力会の令和4年度老人保健事業推進費等補助金

「生活支援コーディネーターによる住民主体の『食』関連生活支援サービスの開発支援方策と持続可能な事業実施・展開に関する調査研究」

2022年7月13日、2023年3月27日に石橋智昭研究部長が、学識委員として委員会に出席しました。1年間をかけて全国の生活支援コーディネーター向けに、住民主体の「食」関連生活支援サービスの立上げ・発展の支援方策を検討します。

### (4) 横浜市病院協会看護学校「学校運営会議」

2022年11月4日、2023年3月10日に佐々木晶世博士研究員が、外部委員(学識経験者)として出席しました。

## 7. 調査研究受託事業一覧（2017年度より開始）

### (1) 2017年度

#### 1) 「高品質サービスの言語化」に向けた事例の検証・解析調査研究事業

委託元：公益社団法人全国老人福祉施設協議会

#### 2) 「要介護者の認定レベル推移データ」提供事業

委託元：東京海上日動火災保険株式会社

#### 3) 80代になっても元気で働けるシルバー人材センターのあり方に関する調査研究事業

委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

#### 4) 生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究における埼玉県版総括報告書作成業務

委託元：公益財団法人いきいき埼玉

### (2) 2018年度

#### 1) 伴走型介護の可視化に向けた評価指標の確立に関する調査研究事業

委託元：公益社団法人全国老人福祉施設協議会

#### 2) 80代になっても元気で働けるシルバー人材センター会員の増加策に関する調査研究事業

委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

#### 3) 「在宅生活を支える重度化予防のためのケアとその効果についての既存指標等を用いた調査研究」支援業務

委託元：日本生活協同組合連合会

### (3) 2019 年度

- 1) 高齢期会員の就業ハンドブック作成事業

委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

### (4) 2021 年度

- 1) シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究事業

委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

### (5) 2022 年度

- 1) 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症第6波における感染状況に関する研究事業
- 2) 社会福祉施設における自然災害時の被災リスク及び相互応援協定等に関する研究事業
- 3) 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症第7波における感染状況に関する研究事業

委託元：東京都社会福祉協議会、高齢者施設協議会

- 4) シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究事業

委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会